

## ごみの減量化、こんな方法はどうでしょう

「話は分かるが、減量は面倒だ」

…と感じるでしょう。しかし、**50g とはおおよそタマゴ 1 個の重さです**。こんな方法で削減をこころがけてみませんか？

### ●紙をまとめて資源ごみの日に出す

ごみ箱に捨てがちなの、ダイレクトメールやメモ書き。これらをまとめて資源ごみの日に出せば、リサイクルされて「もやせるごみ」が減るので、減量化になります。

### ●食べ残しを減らし、生ごみの水分はしっかり切る

これも立派な減量化になり、焼却の時間を短縮し、Co2 の発生を抑えます。



この2点を実践すれば、決して不可能な重さではないのです。

## なぜ、ごみの減量化が必要なのか

そもそも、ごみの減量化は必要なのでしょうか。もやせるごみの量を減らすことによって生まれるメリットを考えてみます。

### ●ごみ処理費用が削減できる

ごみの収集から中間処理、最終処分にかかる処理費用は、**皆さまからの税金**でまかなわれています。ごみが減ることにより、ごみ処理費用も削減できます。

### ●資源の節約につながる

紙の原料となっているパルプは、海外からの輸入に多くを頼っているため、紙のリサイクルは、海外の森林を守ります。

### ●エネルギーが節約できる

リサイクル原料から製品などを生産すると、新しい原料から製品を生産するより、エネルギーを大幅に節約できます。

### ●焼却炉が長持ちし、修繕費用を抑えられる

クリーンセンターの工事費は、**年間3億9000万円**かかっていますが、ごみの減量化により、修繕費を抑えることができます。

### ●最終処分場の延命が図れる

最終処分場にも埋立量の限界があり、埋立ての限界になれば新たな最終処分場が必要になります。ごみが減ることにより焼却灰の発生が抑えられ、最終処分場が長く使えるようになります。



## ごみ行政は、皆さまが主役



すぐに効果を上げようとは考えてはけません。徐々に皆さんへ浸透していき、一般廃棄物処理基本計画の目標年である平成37年度には、「**一人1日当たり833gの排出量と資源化率18.5%**」達成を目指しましょう！

(※平成28年度：一人1日当たり876g 資源化率14.4%)

ひとり一人が「**1日タマゴ1個の減量**」を頭の片隅に置いて、気付いたときに実践してみましよう。実践こそが、ごみ行政への参画になります。

また、何かの機会に他の方に話して、参画の輪を広げていきましょう！

# 大田原市のごみ処理状況

～ごみを知って、資源にまわそう！～

毎日の生活のなかで、必ず発生する「ごみ」。

昨年1年間で、市民の皆さまから排出されたごみの量は、**約24,000トン**。市民一人当たりによると、年間約320kgのごみを排出していることとなります。

また、ごみステーションからの収集・運搬、仕分けや焼却、最終処分(埋め立て)までのごみ処理にかかった費用は、**約10億250万円**でした。これは、市民一人当たりによると約13,350円となります。

※H27ごみ処理費用：10億5,800万円、一人当たり14,061円

また、昨年1年間でのごみ処理量のうち、資源になった量は全体の約14%である3,450トン。しかしながら、全体の約85%に当たる20,500トンのごみが焼却処分になりました。一昨年と比較すると、**市民一人当たりのごみ排出量はわずかに減少していますが、資源になる割合も減少しています。**

## キーワード「もやせるごみ」

本市で発生するごみのうち、**約85%**を占める「もやせるごみ」。

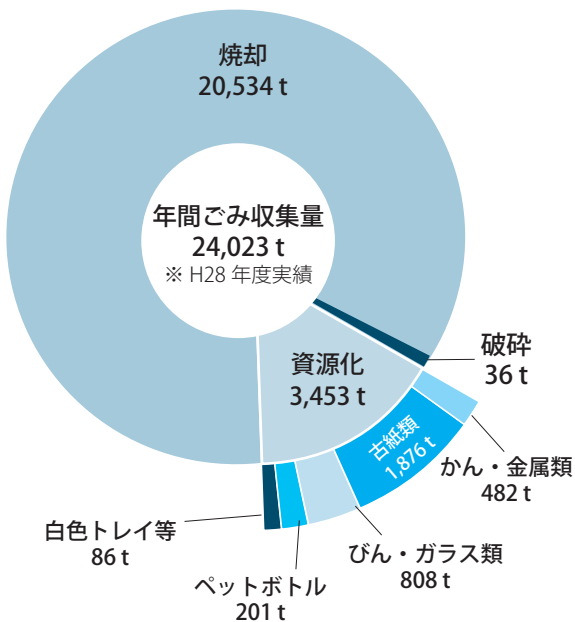
昨年度、広報でお知らせしました「ごみ質分析」の結果でも、パンフレットや雑誌類、段ボールなどの**紙類が半数近く**を占めるほか、ペットボトルなどの資源になるものが多く混入しているのが実態です。

また、厨芥類(生ごみ)についても大きな割合を占めており、水分を多く含んでいたり、食べ残しなどの「**食品ロス**」も多い状況です。

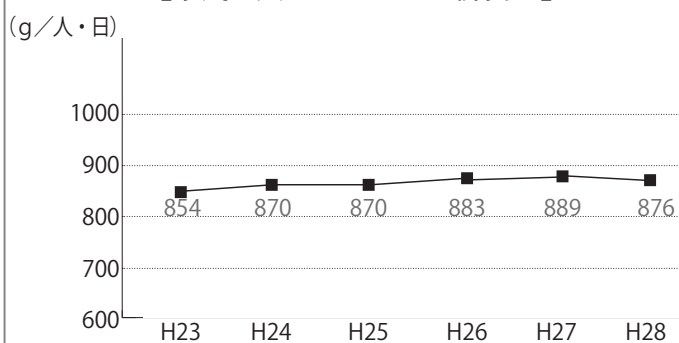
これらを仮に、本市の一般廃棄物処理基本計画に基づき「1人1日あたり50gの減量」をしたとします。50g×365日×75,000人で、**1,370t**の減量ができる計算になります。

これは、ごみ収集車で**約460台分**に相当する量なのです。

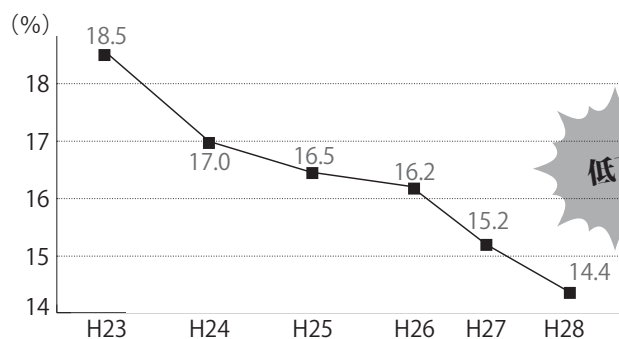
【ごみ処理状況】



【市民一人あたりのごみ排出量】



【ごみの資源化率】



【ごみ処理費用】 H28 年度実績



収集運搬	中間処理※1	最終処分※2	計
1億9944万円	7億4682万1千円	5619万1千円	10億245万2千円

※1 中間処理は、広域クリーンセンター大田原での焼却等の処理

※2 最終処分は、黒羽グリーンオアシスでの焼却灰等の埋め立て処分